



TOTTORI



鳥取の伝統工芸品



現代に伝わる
優れた手仕事



販売所
紹介付き♪

TRADITIONAL ARTS & CRAFTS



経済産業大臣指定
伝統的工芸品・伝統工芸士

因州和紙 (昭和五十年指定伝統的工芸品)

鳥取県因州和紙協同組合

〔佐治地区〕

長谷 一正

岡村 日出正

岡村 裕司

岡村 義行

〔青谷地区〕

中原 剛

長谷川 憲人

池原 和樹

中原 寛治

弓浜緋

昭和五十年指定伝統的工芸品)

鳥取県弓浜緋協同組合

渡辺 千代枝

村上 一枝

中嶋 幸子

南家 敦美

南家 均

青砥 明子

出雲石灯ろう

(昭和五十二年指定伝統的工芸品)

鳥取県石灯ろう協同組合

富永 光雄



鳥取県伝統工芸士

陶磁器

因久山焼

牛ノ戸焼

上神焼 上山窯

法勝寺焼 松花窯

因州・中井窯

上神焼

法勝寺焼 皆生窯

岩井焼

延興寺焼

福光焼

大山焼 久古窯

山根窯

浦富焼

織物・染物

倉吉緋

綾綴織

筒書き

大山友禅染

郷土玩具

木彫十二支

土鈴

竹製品

竹細工

木製品

因幡の踊り傘

淀江傘

挽物

挽物・刳物

桐下駄

桐箱

麒麟獅子

その他の工芸品

和太鼓

小椋 愛子

大坪 英治

小橋 元

池口 栄太郎

中嶋 正義

齋江 範人

株本 覚

山本 絵美子

茗荷 定治

竹本 徹志

小林 義實

福田 豊

西村 孝美

盛田 重美

大谷 耕象

中山 勘治

矢山 裕二

大柄 盤治

大柄 重人

Google「日本の匠」
鳥取県



tottori ととりの手仕事 HP
www.pref.tottori.lg.jp/teshigoto



お問い合わせ先

鳥取県販路拡大・輸出促進課
(一社)鳥取県物産協会
鳥取県東京本部
鳥取県関西本部
ふるさと鳥取県産業・観光センター

鳥取市東町1-220
鳥取市末広温泉町160
東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館10階
大阪市北区梅田1-1-3-2200 大阪駅前第3ビル22階
名古屋市中区栄4-1-1 中日ビル4階

☎ 0857-26-7828
☎ 0857-29-0021
☎ 03-5212-9077
☎ 06-6341-3955
☎ 052-262-5411

発行：鳥取県商工労働部兼農林水産部 市場開拓局 販路拡大・輸出促進課 発行日：平成31年4月
E-mail: hanro-yusyutsu@pref.tottori.lg.jp



伝統工芸士とは、

経済産業大臣が指定する

伝統的工芸品を製造する技術者のうち、

実務経験が十二年以上あり、

産地組合の技術及び知識試験に合格し、

伝統的工芸品産業振興協会に認定された者をいう。



鳥取県伝統工芸士とは、

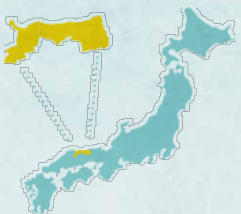
鳥取県が指定する郷土工芸品又は

郷土民芸品を製造する技術者のうち、

従事年数が十年以上あり、

その伝統的技術・技法・知識を有するとして

鳥取県知事に認定された者をいう。



本書はこれらの伝統工芸士による作品を集め、紹介します。

和紙

因州和紙

いんしゅうわし



1 2

【生産者組合】

鳥取県因州和紙協同組合

1 鳥取市西商工会

☎ 0857-82-0809

鳥取市気高町勝見670-22

2 鳥取市南商工会

☎ 0858-85-1160

鳥取市河原町長瀬45-1

因州和紙の起源は定かではありませんが、奈良時代の正倉院文書の中に、因幡の国で抄紙されたと推測される紙が保存され、平安時代の「延喜式（えんぎしき）」（九〇五〜九二七年編纂）に因幡の国から朝廷に紙が献上されたという記録があることから、一三〇〇年と言われる歴史があります。江戸時代には、藩の御用紙としても庶民の使う紙としても盛んに生産されました。明治時代に入ると、海外や他県から生産技術を導入し、生産性を向上させ、その勢いは大正末期まで続きます。昭和に入り、洋紙の生産力が上がり、庶民が使用する紙は洋紙が中心になっていきます。さらに戦後、コピー機の台頭や生活様式の変化で、それまでの主力製品であった事務用薄葉紙や障子紙等の需要が激減しました。そこで因州和紙は新製品として画仙用紙等

の書道用紙と工芸紙、染色紙を開発、特に手漉きの高級画仙用紙は日本有数の生産量を誇っています。書き心地が良く、他の和紙では一枚しか書けないところが二枚書けるほど墨の減りが少ないことから「因州筆切れず」と言われ、全国の書道家に愛用されています。そして今、因州和紙は、立体形状の紙や写真プリント用和紙の開発等、新製品の開発に力を注いでいます。因州和紙は常にそれぞれの時代に合わせ技術を導入し、新商品を開発しながら産地を維持してきたのです。



織物

弓浜緋

江戸時代前期に農家の主婦たちが家族のために仕事着・普段着・布団等を織り始めたのが弓浜緋の起源です。家族の健康と繁栄を祈って織られたため、縁起の良い「鶴亀松竹梅」などがいまも弓浜緋を代表する模様で、その絵柄の素朴さと、ざっくりとした風合いに落ち着いた藍染の紺と白のコントラスト、さらに吸湿・保温性に富んだ線素材が大きな特徴です。化学繊維の発達とともに弓浜緋は衰退していきましたが、伝統的な手織りの良さが見直され、現在は着物地だけでなくテーブルセンター、バッグ、髪留めなど新しい

製品が作られています。弓浜緋には、地元で農薬・化学肥料なしで栽培される伯州綿も使われます。伯州綿も江戸時代に砂地でも栽培できる農作物として生産が始まりました。伯州綿は繊維が短く加工が難しいのですが、弾力があって、軽くて暖かいのが特徴です。



3



5



4

【生産者】
3 商家織物
 ☎ 0859-42-3233
 境港市外江町3641
4 ごとう餅店
 ☎ 0859-22-5414
 米子市茶町10
5 村上緋織物
 ☎ 0859-28-8385
 米子市和田町922

倉吉緋

倉吉緋の起源は、江戸時代末期といわれています。美術的で精巧な柄を持った絵緋が特徴です。明治時代、船木・桑田工場から出品した緋は、諸外国の万国博覧会で受賞するなど、名声を博しました。現在では、緋の美しさに魅せられた人たちがその技法を学び、受け継いでいます。

7



6

染物

筒書き

筒書きは、渋紙の筒にモチ粉などで作った染めを防ぐのりを入れ、筒の先からのりを押し出して布に模様を輪郭を描く技法です。代表的なのが大漁旗で、境港や隠岐島等の漁業関係者の需要に応えるほか、暖簾や法被なども制作しています。



【生産者】
8 松田染物店
 ☎ 0859-22-3358
 米子市紺屋町47

綾綴織

倉吉緋を手ほどきに織りを始めた吉田祐氏が、倉吉に伝わる「風通（ふうつう）織・そしき織の伝書」を解説し、多綜統による織物を試みました。さらに他産地の織物を研究しながら編み出した技法をもとに製作しています。

大山友禅染

絹や木綿等の天然繊維に伝統技法や現代技法を用い、着物から小物まで制作しています。「色を染めて、布を染めて、心を染めて」をキャッチフレーズに伝統美だけでなく、現代美をも表現できる染色を目指しています。



【生産者】
9 手描染アトリエカワハラ
 ☎ 0859-52-3502
 西伯郡伯耆町金屋谷1692-19

【生産者】
6 倉吉緋保存会
 ☎ 0858-23-2255
 倉吉市東仲町2606(ふるさと工芸館内)
7 吉田たすく手織工房
 ☎ 0858-22-2989
 倉吉市鍛冶町1-2806

陶磁器

岩井窯

吉田璋也の民芸運動に影響を受け、陶芸を志し、昭和四六年に岩井の地に開窯しました。全国への発信を目標に掲げ、北海道から九州まで各地で作品展を開催しています。伝統的な技法を使いながらも常に新しい作品を発表し、現代の生活様式に合う提案をし続けています。



[生産者]
10 クラフト館 岩井窯
☎ 0857-73-0339
岩美郡岩美町宇治134-1

延興寺窯

昭和五四年春に開窯しました。地元の陶土・釉薬原料を活用して、手仕事の伝統継承と展開を目標に、日々の生活を潤す作品づくりに取組んでいます。粉灰や黒石(泥岩)を使った独自の釉薬は、用の美を重視した無駄のない造形に深みを与えています。



[生産者]
11 延興寺窯
☎ 0857-73-1219
岩美郡岩美町延興寺525-4

浦富焼

浦富では、江戸の末期から明治維新により廃藩になるまで数十年間、国産奨励の政策のもと出石の陶工を招いて染付の日用雑器が焼かれていました。昭和四六年に浦富山麓に再び窯を築き、白磁・染付・黒刷毛を主に製作しています。



[生産者]
12 浦富焼窯元
☎ 0857-72-0250
岩美郡岩美町浦富3174-3

牛ノ戸焼

昭和初期に衰退していた牛ノ戸焼を復興させたのは、民芸家の吉田璋也の指導と四代目の努力によるものでした。素朴な民芸調で太く堅牢なところに特色があり、主に日用雑器が焼かれています。



[生産者]
13 牛ノ戸焼窯元
☎ 0858-85-0655
鳥取市河原町牛戸185

因州・中井窯

昭和二十年に登り窯を築き、鳥取の民芸家、吉田璋也の指導を受け、日本民芸館展等に多数入選。用と美をテーマに真の民芸品を製作しています。使用する粘土は地元のもので釉薬は、黒釉、緑釉、白釉を主としています。



[生産者]
14 因州・中井窯
☎ 0858-85-0239
鳥取市河原町中井243-5

因久山焼

江戸時代の中期に、鳥取藩主池田侯に招かれた京都の陶工が築窯し、藩の御用窯として茶器などを焼かせたのが始まりといわれています。吉くから伝わる登り窯で焼かれ、わら灰効薬を使っている独特の味わいを出しています。



[生産者]
15 因久山焼窯元
☎ 0858-72-0278
八頭郡八頭町久能寺649

山根窯

昭和六十年春、青谷町山根の地に開窯しました。蹴りロクロを使い、登り窯にて焼成しています。伝統的な仕事の中に明るく健康な暮らしの器を目指し作り続けています。



【生産者】
16 山根窯
☎ 0857-86-0531
鳥取市青谷町山根190-1

黒見焼

民芸家の吉田璋也の紹介で因州・中井窯にて陶技を修得。昭和四七年、倉吉の黒見に登り窯を築きました。使っていただく方々の気持ちを大切に、暮らしに受け込む焼き物を目指し、作陶に励んでいます。



【生産者】
17 黒見焼
☎ 0858-28-0857
倉吉市黒見町269

上神焼 上神山窯

絶えかけていた上神焼の再興を願って窯を開いたのが初代です。初代は平野桐雲に師事し、その作風は長い伝統と色鮮やかな辰砂の上神焼として好評を受け、さらに現在では辰砂はもとより油滴点目、金彩窯変など新しい分野も得意としています。



【生産者】
20 上神焼 上神山窯
☎ 0858-22-5705
倉吉市上神326-1

大山焼 久古窯

大正時代に焼かれていた大山焼を再興し、昭和四五年開窯、素朴さと現代感覚をそなえた焼き物を製作しています。鉄釉を主として使用・研究し、変化に富んだ魅力ある陶磁器で、玉鋼耀天目をはじめ、青瓷・油滴・均窯・灰釉等を焼いています。



【生産者】
21 大山焼 久古窯
☎ 0859-68-2098
伯耆町久古1401

福光焼

鉄による黒釉（黒化粧）と鉛釉とのコントラストを生かし、高台は深く削り出し、薄手ながらも重厚な作風が特徴です。登り窯にて焼成、出来上がるまでのプロセスを楽しみ、心安らぐ器作りを目指しています。



【生産者】
18 福光焼
☎ 0858-28-0605
倉吉市福光800-1

上神焼

この地方では、古くから伯尾山、伯州尾山といった名称で製陶が行われていました。現在の上神焼窯元は、昭和一八年に初代窯主によつて築かれたもので、京風の作りに地方色をとりいれて、伝統と新しい手法で焼成するのが特徴です。



【生産者】
19 上神焼 窯元
☎ 0858-22-8389
倉吉市不入岡395

法勝寺焼 松花窯

約二五〇年前、江州（滋賀県）の陶工丈助により製陶が始められたと伝えられています。会見焼と呼ばれた時期もありましたが、この伝統を受け継ぎ、明治三八年に初代が築窯して法勝寺焼を創設。土瓶などに良く表れている焼き上がりの柔らかかみが特徴です。



【生産者】
22 法勝寺焼 松花窯
☎ 0859-66-2052
西伯郡南部町落合257

法勝寺焼 皆生窯

昭和三六年に、法勝寺焼二代目が松花窯の脇窯として皆生に登り窯を築いたのが始まり。手法、焼成は、法勝寺焼松花窯と同じものですが、皆生の砂、日野川河口の砂鉄を粘土や釉薬の中に混ぜるなどの新しい技法も取り入れて製作が続けられています。



【生産者】
23 法勝寺焼 皆生窯
☎ 0859-33-2826
米子市皆生温泉2-19-52

木製品

麒麟獅子

きりんじし

江戸時代より、平和を願い舞い継がれている麒麟獅子は、お祭りやお正月に、ところによっては結婚式でも舞われる因幡地方(鳥取県東部)に伝わる独特の伝統芸能です。この貴重な風習が後世に受け継がれるように、獅子頭の復元制作、修理を行い、ミニチュアの置物、壁掛けも製作しています。



【生産者】
24 矢山彫刻
☎ 080-5234-5416
八頭郡八頭町東677

【生産者】
25 中山工芸
☎ 0857-28-5852
鳥取市湖山町北5-215



【生産者】
26 大谷桐工
☎ 0858-72-0558
八頭郡八頭町船岡1827-1

桐箱

きりばこ

桐の歴史は古く、天平の昔に雅楽面などの歌舞用具に使われていました。家具の発達に伴い、鎌倉時代には鎧櫃・刀剣箱・富裕階層の高級調度品などに使われ、江戸時代に至って大衆に使われるようになりました。桐箱は、収納物を湿気から守り、軽い・狂いがない・燃えにくいなどの特性があるため、現在では、掛け軸箱・茶碗箱・茶道具入・屏風入・花瓶箱・色紙箱などが作られています。

挽物・刳物・指物

ひきもの・くりもの・さしもの

因幡・伯耆の国は杉・檜・松・栗・樺・枺・ブナ・槐など古くから各種の材料に恵まれた土地でした。これら豊かな材料を求めて昔から往来していた木地師や、城下町に住む武士達の日用調度品を作る御用職人が地道にその伝統技術を伝えてきました。昭和初期の民芸運動以来、時代に合った木工品が盛んに作られるようになり、今も各地にその気風が息づいています。



【生産者】
27 竹本木工
☎ 090-3374-1616
倉吉市東昭和町5



28 小林挽物店
☎ 0858-82-1530
八頭郡若桜町若桜67



29 鳥取民芸木工
☎ 0858-28-3037
倉吉市黒見407-1

竹製品

竹細工

弾力性に富み、耐久性に優れている竹は、古くから様々な形に使用されてきました。鳥取県の竹細工は主に庶民の生活に密着した日常道具として発展しました。近年は民芸としての素朴な美しさが注目されています。



【生産者】
 30 仁人竹工房
 ☎ 0857-29-4392
 鳥取市末広温泉町114

淀江傘

淀江傘の起源は江戸時代文政四年と言われています。番傘、蛇の目傘など実用に富み丈夫なことで知られ、蛇の目の形(亀甲、梅型)や特有の糸飾りに特色があります。



【生産者】
 31 淀江傘伝承の会
 ☎ 0859-56-6176
 米子市淀江町淀江796

因幡の踊り傘

因幡の踊り傘は、江戸末期から伝わる雨乞い踊りに剣舞の型を取り入れた勇壮な振り付けをした無形文化財「因幡の傘踊」に使用される傘です。現在は、粘りがあり、より耐久性のある真竹と丈夫な因州和紙を使用し、骨の割りを大きくするなど、強さ、耐久性を主眼に製作しています。



【生産者】
 32 竹扇堂
 ☎ 0857-29-8284
 鳥取市行徳2-432

鹿野すげ笠

鹿野すげ笠の起源は、約四〇〇年前、鹿野城主亀井茲矩が農村振興の一助に、副業として奨励したことに始まるとされています。昭和の半ばまで、田畑での農作業用笠として晴雨によらず使用された必需品でした。菅は、軽く、晴れた日は乾燥して縮んで通気性が良くなり、雨の日は湿気で膨らむため、笠の目が詰まり雨を通さないという利点があります。



【生産者】
 33 鹿野すげ笠を守る会
 ☎ 0857-84-2720
 鳥坂市鹿野町鹿野1381

その他

和太鼓

江戸時代から二〇〇余年にわたり伝統と技を受け継がれてきた和太鼓は、胴となるケヤキ、牛皮のなめし、そして熟練された技が三位一体となって生れます。精魂込めて作り上げた太鼓の一つ一つに魂が宿り、その鼓動が迫力ある響きとなって感動を伝えます。



【生産者】
 34 大柄太鼓店
 ☎ 0859-82-0362
 日野郡日商町三栄1766

出雲石灯ろう

起源は奈良、平安時代といわれ江戸時代に盛んになりました。石材に來待石(きまちいし)という粒子の細かい軟質の砂岩を使用しており、色彩もよく、早く苔による古色を帯びてきます。また、耐熱耐寒性に優れ、風化しにくい上に加工しやすいという長所があります。



【生産者】
 35 富永石材店
 ☎ 0859-42-6328
 境港市外江町2025-1

郷土玩具



【生産者】
 因州若桜焼
 ☎ 0858-82-1217
 八頭郡若桜町若桜1173

土鈴の歴史は縄文時代とされます。魔除けの力を持つといわれ、祭礼用に用いられてきたようです。現在では、歴史や祭礼縁起など地域にちなんだ土鈴や、干支の土鈴などを手作りして製作し、地域の情報発信にも役立っています。

木彫人形十二支

約二〇〇年前、木地師小椋佐兵衛が、挽物を製作したのが始まりです。その流れをくむ小椋家七代目により、従来の挽物に独自のデザインと技術を加えて木彫人形十二支が製作されました。全体を挽物細工で作り、泥絵具で彩色したもので、素朴な中にも斬新な趣があります。



【生産者】
 おぐら屋
 ☎ 0857-72-0520
 岩美郡岩美町岩井319

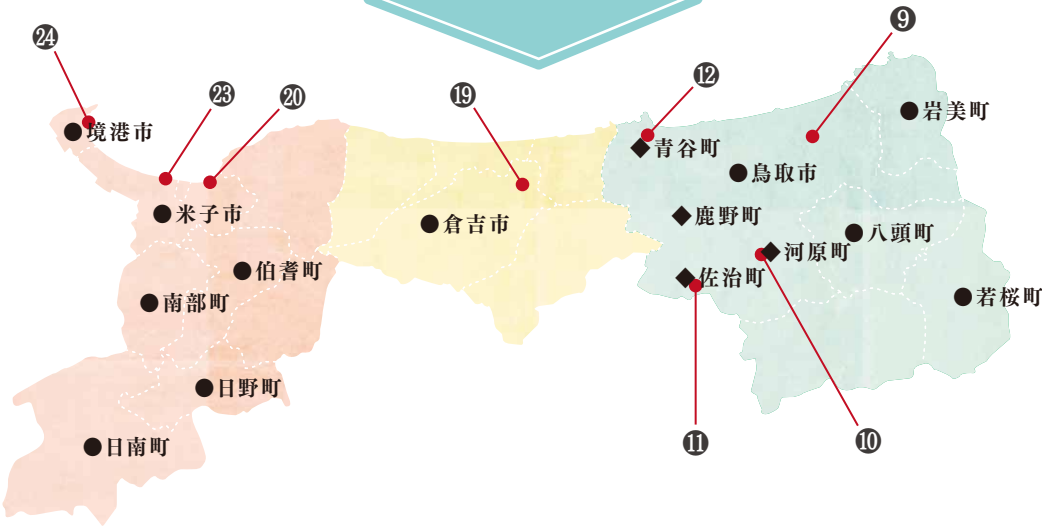
【生産者】
 はこた人形工房
 ☎ 090-1185-9732
 倉吉市魚町2529



はこた人形

江戸時代に備後の国から行商にきた備後屋治兵衛が、倉吉の素朴でつましやかな娘に惹かれ、これを人形にしたといわれています。桐の木型に和紙を張り重ね、張り子を型から抜き取り、胡粉で下地を塗り、泥絵具で彩色し、にかわでつや出をした張り子細工です。

伝統工芸品 マップと 手仕事品 販売所紹介



- 境港市
 - ・弓浜餅
 - ・出雲石灯ろう
- 米子市
 - ・弓浜餅
 - ・筒書き
 - ・法勝寺焼
 - ・皆生窯
 - ・淀江傘
 - ・竹細工
- 南部町
 - ・法勝寺焼
 - ・松花窯
- 日野町
 - ・刳物・挽物
- 日南町
 - ・和太鼓
- 倉吉市
 - ・倉吉餅
 - ・綾綴織
 - ・黒見焼*
 - ・福光焼
 - ・上神焼
 - ・上神焼上神山窯
 - ・刳物・指物
 - ・竹細工
 - ・はこた人形*
- 鳥取市
 - ・麒麟獅子
 - ・欄間彫刻
 - ・竹細工
 - ・因幡の踊り傘
 - ・流しびな*
- ◆ 青谷町
 - ・因州和紙
 - ・山根窯
- ◆ 河原町
 - ・牛ノ戸焼
 - ・因州・中井窯
- ◆ 佐治町
 - ・因州和紙
- ◆ 鹿野町
 - ・鹿野すげ笠*
- 八頭町
 - ・因久山焼
 - ・桐箱
 - ・麒麟獅子
- 若桜町
 - ・桐下駄
 - ・挽物
 - ・土鈴
 - ・鍛冶製品*
- 岩美町
 - ・岩井窯
 - ・延興寺窯
 - ・浦富焼
 - ・木彫人形十二支

【*】は現在のところ伝統工芸士不在だが、保存会などにより生産されている。

「鳥取県東部の民芸品を販売」



⑩ 道の駅清流茶屋
かわはら

【品目】
陶磁器
木工
和紙
郷土玩具

▶ P14参照

鳥取市河原町高福837
☎ 0858-85-6205
🕒 9時～19時(3～11月)
9時～18時(12～2月)



「佐治地区の因州和紙ならここ」



⑪ 和紙工房
かみんぐさじ

【品目】
和紙
体験
紙漉き体験
もできます。
うちわ作り
も人気。

▶ P14参照

鳥取市佐治町福園146-4
☎ 0858-89-1816
🕒 9時～16時30分
水曜日休



「因州和紙製品を販売」



⑫ あおや和紙工房

【品目】
和紙
体験
紙漉き体験
もできます。
ランプ作り
も人気。

▶ P14参照

鳥取市青谷町山根313
☎ 0857-86-6060
🕒 9時～17時
月曜日休(祝日の場合翌平日休)



「ホテル内の伝統工芸品販売コーナー」



⑦ ホテルニューオータニ

【品目】
郷土玩具
和紙
木工

鳥取市今町2-153
☎ 0857-23-1111
🕒 8時～20時



「創業60年を超える竹製品の老舗」



⑧ 竹豊工芸

【品目】
竹工
木工
陶磁器
染織物
郷土玩具
和紙

鳥取市東品治町113
☎ 0857-22-3295
🕒 10時～16時
月曜日休



「山陰の窯元の陶磁器を販売」



⑨ 器屋 うらの

【品目】
陶磁器

▶ P14参照

鳥取市雲山173
☎ 0857-21-1616
🕒 10時～18時



「各種お土産販売から観光案内も」



④ まちパル鳥取

【品目】
陶器
木工
和紙
染織物

鳥取市末広温泉町160
☎ 0857-36-3767
🕒 9時～19時



「吉田璋也の開いた民芸品店」



⑤ たくみ工芸店

【品目】
陶磁器
和紙
染織物
郷土玩具
木工

鳥取市栄町651
☎ 0857-26-2367
🕒 10時～18時
水曜日休



「若手作家の手仕事を幅広く紹介」



⑥ ギャラリーショップ
SORA

【品目】
陶磁器
木工
和紙
ガラス
染織物
ほか

鳥取市栄町658-3
(サンロード商店街)
☎ 0857-29-1622
🕒 11時～17時 水曜日休



「博物館内の民芸品販売コーナー」



① 鳥取県立博物館
ミュージアムショップコーナー

【品目】
郷土玩具
染織物
和紙
木工

鳥取市東町2-124
☎ 0857-27-9520
🕒 9時～17時
月曜日不定休



「鳥取県の主な民芸品がそろう」



② 高砂屋
城下町とっとり交流館

【品目】
和紙
陶磁器
染織物
郷土玩具
木工
竹工

鳥取市元大工町1
☎ 0857-29-9024
🕒 9時～19時
月曜日休(祝日の場合翌平日休)



「浦富焼ならここ各種体験教室も」



③ 工芸集(つれ)

【品目】
陶磁器
染織物
竹工
木工
ガラス

鳥取市川端1-104
☎ 0857-26-6156
🕒 10時30分～17時30分
水曜日休



鳥取市中心部

鳥取県へのアクセス

【自動車】

名古屋・大阪
～鳥取-名神▶吹田JCT▶中国道▶佐用JCT▶鳥取道▶鳥取IC
/名古屋から約4時間30分、大阪から約2時間30分
～米子-名神▶吹田JCT▶中国道▶落合JCT▶米子道▶米子IC
/名古屋から約5時間、大阪から約3時間
広島
～鳥取-山陽道▶広島JCT▶広島道▶広島北JCT▶中国道▶佐用JCT
▶鳥取道▶鳥取IC / 広島から約4時間10分
～米子-山陽道▶広島JCT▶広島道▶広島北JCT▶中国道▶落合JCT
▶米子道▶米子IC / 広島から約3時間15分

【高速バス】

東京
～鳥取(夜行)-約9時間35分
～倉吉(夜行)-約10時間45分
～米子(夜行)-約10時間20分
名古屋
～米子(夜行)-約8時間25分
大阪
～鳥取(昼・夜行)-約2時間55分
～倉吉(昼・夜行)-約3時間40分
～米子(昼・夜行)-約3時間35分
※所用時間は便により異なります。

【列車】

東京・名古屋・京阪神方面
～鳥取-智頭急行「特急スーパーはくと」で
大阪から約2時間30分
九州・山陰方面
～鳥取-智頭線・因美線「特急スーパーいなば」で
岡山から約1時間45分
東京・名古屋・京阪神・九州・山陰方面
～米子-伯備線「特急やくも」で
岡山から約2時間10分

【飛行機】

東京・羽田空港
～鳥取砂丘コナク空港-全日空(ANA)/1日5便/1時間10分
東京・羽田空港
～米子鬼太郎空港-全日空(ANA)/1日6便/1時間15分

*鳥取砂丘コナク空港～鳥取駅(約20分)、米子鬼太郎空港～米子駅(約30分)に連絡バスがあります。
*発着時刻、便数、運行状況はお断りなしに変更になる場合があります。運行等の詳細は各航空会社などでご確認ください。

「民芸品から各種お土産まで販売」



24 夢みなとタワー
みなとまち商店街

【品目】
和紙
陶磁器
染織物
木工・竹工
郷土玩具
ガラス

境港市竹内団地255-3-1F
☎ 0859-47-3710
9時～17時(10～3月)
9時～18時(4～9月)
第二水曜日休、ただし8月は無休

📍 P14参照

「山陰のいいものセレクトショップ」



23 今井書店 本の学校内
しまとり

【品目】
陶磁器
和紙
木工など

米子市新開2-3-10
☎ 0859-21-4050
9時～22時

📍 P14参照

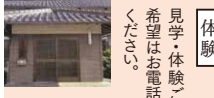
「鳥取・鳥根の手仕事作家作品を販売」



22 高島屋 4階
ギャラリーEIN

【品目】
陶磁器
郷土玩具
染織物
木工など

米子市角盤町1-30
☎ 0859-22-1111
10時～18時



【品目】
和傘



20 淀江和傘
伝承館

米子市淀江町淀江796
☎ 0859-56-6176
9時～17時 日・祝・月曜日休

「淀江傘の生産拠点」
体験
見学・体験ご希望はお電話ください。

「弓浜絨の製造直売店で種類豊富」



21 ごとう絨店

【品目】
染織物
弓浜絨のバッグや、のれんなどもあります。

米子市茶町10
☎ 0859-22-5414
10時～18時
木曜日休



「倉吉駅併設 食品の品揃えも豊富」



19 くらよし
駅ヨコプラザ

【品目】
陶磁器
郷土玩具
和紙
染織物

倉吉市上井195-12
☎ 0858-24-5333
7時30分～19時30分



【品目】
郷土玩具



18 はこた
人形工房

倉吉市魚町2529
☎ 090-1185-9732
10時～17時 水曜日休

「倉吉の郷土玩具はこた人形」を製造・販売

「自作の吹きガラスを販売」



17 saon

【品目】
ガラス

倉吉市魚町2521-1F
☎ 0858-38-9023
10時～18時
火曜日休



「山陰の民芸品にふれるならこちら」



16 COCORO STORE

【品目】
陶磁器
郷土玩具
木工・竹工
和紙
ガラス
鍛冶

倉吉市魚町2516
☎ 0858-22-3526
10時～18時
水曜日休



「様々な種類の竹製品を販売」



15 赤瓦三号館
中野竹藝

【品目】
竹工

倉吉市東仲町2573
☎ 0858-23-7500
9時～17時
年中無休



「店内には貴重な織り機の展示も」



13 倉吉ふるさと工芸館

【品目】
染織物
陶磁器

倉吉市東仲町2606
☎ 0858-23-2255
9時～17時
水曜日休



「ギャラリー・展示スペースもあり」



14 民芸TAKAKI
(土蔵そば)

【品目】
陶磁器
郷土玩具
和紙
うちたての手打ち蕎麦も味わえる。

倉吉市新町1-2429-5
☎ 0858-23-1821
10時～17時
木曜日休

